

# 古戰場公園再整備基本計画資料編

## 目次

1. 古戦場公園再整備基本計画策定第1～5回市民ワークショップ報告書.....	81
1-1. 古戦場公園再整備基本計画策定第1～5回市民ワークショップ概要.....	81
1-2. 古戦場公園再整備基本計画策定第1回市民ワークショップの概要.....	82
1-3. 古戦場公園再整備基本計画策定第2回市民ワークショップの概要.....	83
1-4. 古戦場公園再整備基本計画策定第3回市民ワークショップの概要.....	84
1-5. 古戦場公園再整備基本計画策定第4回市民ワークショップの概要.....	85
1-6. 古戦場公園再整備基本計画策定第5回市民ワークショップの概要.....	86
2. 古戦場公園再整備基本計画策定に関するアンケート調査報告書.....	88
2-1. 古戦場公園再整備基本計画策定に関するアンケート調査概要.....	89
2-2. 古戦場公園再整備基本計画策定 講演会アンケート調査の概要.....	90
2-3. 自分のお気に入りスポット写真募集概要.....	94
2-4. 平成28年度長久手市郷土資料室特別展「小牧・長久手の戦い」アンケート調査.....	95
3. 古戦場公園再整備基本計画策定に関する意見交換会報告書.....	96
3-1. 古戦場公園再整備基本計画策定夏休み ワイワイ 古戦場公園意見交換会の概要.....	96
3-2. 古戦場公園再整備基本計画策定 長久手市郷土史研究会との意見交換会の概要.....	99
1) 古戦場公園再整備基本計画策定 第1回長久手市郷土史研究会との意見交換会の概要.....	99
2) 古戦場公園再整備基本計画策定 第2回長久手市郷土史研究会との意見交換会の概要.....	100
4. 古戦場公園再整備基本計画策定有識者会議報告書.....	101
4-1. 古戦場公園再整備基本計画策定第1回有識者会議の概要.....	101
4-2. 古戦場公園再整備基本計画策定第2回有識者会議の概要.....	104
5. 古戦場公園再整備基本計画策定 文化庁協議報告書.....	107
5-1. 古戦場公園再整備基本計画策定 第1回文化庁協議の概要.....	107
5-2. 古戦場公園再整備基本計画策定 第2回文化庁協議の概要.....	108

## 1. 古戦場公園再整備基本計画策定第1～5回市民ワークショップ報告書

### 1-1. 古戦場公園再整備基本計画策定第1～5回市民ワークショップ概要

- ・趣旨：基本構想の成果をベースとし、市民のアイデアを結集し、国指定史跡地にふさわしい魅力的な古戦場公園を再整備する。  
：市内の歴史・景観資源を活かし、市内フィールドミュージアム化を行い、他都市との交流や観光振興を推進すると共に、楽しく、生きがいのある市民生活を創造する。
- ・目的：古戦場公園は、市民がつくり、市民が運営に参画し、リニモテラスや市内の回遊拠点と連携しつつ、市民や来訪者に満足して頂く公園である。  
：市民を代表する参加者が、利用者・運営者・事業者の視点に立ち、基本方針等を検討することを目的としている。
- ・ワークショップの開催  
：ワークショップは、基本構想時からの参加者も含め、平成27年11月（26名）、12月（29名）、平成28年1月（25名）、2月（18名）、11月（15名）の計5回実施し、毎回3班に分かれて意見交換を行った。
- ・第1～5回ワークショップの概要
  - ・第1回は、古戦場公園再整備基本構想の説明を行い、公園・主要施設の配置・展示等について自由な発言を頂いた。
  - ・第2回は、主要施設配置について、既存資料室活用を含めた3案を提示し意見交換を行ない、ガイドンス・資料館棟東西分離案、東側集約案に絞った。
  - ・第3回は、東西分離案、東側集約案の2案の比較を行い東側集約案、和弓場存続でまとめ、展示計画案についても意見交換を行った。
  - ・第4回は、来場者が満足する運営、市民が参画し生きがいに繋がる運営、公的出費の最小化・事業性のある運営、官民が連携・協働し交流がはぐくまれる運営をめざした意見交換を行った。  
また、フィールドミュージアムのルート・立寄り拠点についてのアイデアを出し合った。
  - ・第5回は、第4回までの市民ワークショップ、各種アンケート、夏休み ワイワイ古戦場公園意見交換会、郷土史研究会との意見交換、第1回有識者会議、文化庁等関連機関との協議等を経て策定された古戦場公園再整備基本計画（案）の概要説明を行い、計画をさらに充実させるためにはどうしたらよいか意見交換を行った。

## 1-2. 古戦場公園再整備基本計画策定第1回市民ワークショップの概要

日時：平成27年11月18日午後6:30～8:40 参加人数：26名

### ■第1回市民ワークショップの様子

#### ■意見交換

##### ・駐車場について

- ・駐車台数を増やすと公園面積が少なくなる。
- ・公園利用者用の駐車場は必要ない。
- ・地下駐車場は費用対効果が問題である。
- ・大型商業施設の駐車場を使うと良い。
- ・レストランやカフェを作るのなら駐車場は必要。
- ・ガイダンス施設には、最低限の駐車場は必要。
- ・イベント時等には、駐車場を広場として多目的に利用する方法が良い。

##### ・和弓場について

- ・古戦場公園に残すのか、移転かは弓道関係者との意見交換が必要である。
- ・残すなら、資料室で弓道の歴史を展示したりして弓道を体感できるようにしたほうがよい。
- ・和弓場は一部の人のみの利用であるため、場外に移転してもらう。
- ・弓は、実際の戦場でも使われたことから、この場所に作ることに意味がある。

##### ・建築計画について

- ・今の郷土資料室は狭く、収蔵スペースが少ない。もっと広くとる必要がある。
- ・東側ゾーンはガイダンス施設、西側ゾーンに資料館や多目的施設がよい。
- ・レストランは東側ゾーンにも必要である。
- ・飲食施設は昔の郷土料理や当時の衣・食・住を体験できる施設にするのがよい。

##### ・公園景観・植栽について

- ・外から訪れる方は、この公園は史跡が当時の様子を残しているのだからいいと言ってくれる。
- ・史跡ゾーンのサクラも活かしたい。
- ・縮景は歴史公園として重要なので残す。 ・縮景は取り止める。 ・池が欲しい。

##### ・大型商業施設との連携

- ・大型商業施設から公園へ来やすい歩道橋を作るべき。
- ・大型商業施設方面から公園を見て古戦場を感じさせるものにしたい。

##### ・市内連携について

- ・古戦場公園を中心とした市全体の史跡の連携、N-バスとの連携。
- ・周辺街路景観、電線の地下埋設など、公園周辺の景観も大事。

##### ・ランドマークについて

- ・櫓を建ててランドマークにする。

##### ・展示内容について

- ・長久手は個人の火縄銃の所持数が日本有数、鉄砲の展示数日本一をすれば目玉になる。
- ・展示を定期的に入れ替え、市内史跡案内、歴史ツアー、語り部、地図の充実。
- ・鉄砲の発射体験、甲冑体験、こども武将隊、こども館長



### 1-3. 古戦場公園再整備基本計画策定第2回市民ワークショップの概要

日時：平成27年12月16日(水)午後6:30~8:50 参加人数：29名

第2回市民ワークショップの様子

#### ■意見交換

- ・和弓場について
  - ・公園スペースを確保するため和弓場は、他所に移転。
  - ・35年間、弓道会は、古戦場公園に関わってきた。弓道会に話して頂く時間、場が必要。
- ・駐車場について
  - ・バス利用は、年数回程度なので観光バス駐車場は不要。
  - ・将来の学童等の利用に配慮してバス駐車場は必要。
  - ・駐車場の場所は、東側でよい。西側は一般の人にはアクセスしづらい。
  - ・駐車場は大型商業施設駐車場を利用すればよい、公園にはリニモで来ればよい。
- ・施設配置について
  - ・東側の地上部にガイダンス施設、地下に資料館棟を持つのが最も合理的。
  - ・ガイダンス施設と資料館棟を一つにした方がランニングコストが安い。
  - ・西側に資料館棟があるとハコが目立ちすぎる。
  - ・公共施設削減の時代において箱物かどうか、資料館棟は不要、屋外展示で工夫すればよい。
  - ・既存施設活用案は、市民の意見を反映していないためありえない。
- ・資料館棟・展示について
  - ・火縄銃は日本一、長久手は尾張藩直轄地、他都市とは違い民俗資料が豊富。
  - ・展示できない収蔵品が多くあるため、これらを活かす必要がある。
- ・ガイダンス施設について
  - ・ガイダンス施設は、長久手合戦をジオラマなどで説明するところ。
  - ・リニモの公益施設とガイダンス施設の機能は統合できるのではないかと。
- ・多目的棟について
  - ・農家移築などはどこでもやっている、あえてここに作らなくても良いのではないかと。
  - ・体験学習の場として重要なので、多目的棟はあったほうが良い。
- ・ランドマークについて
  - ・ランドマークを設け、色金山・御旗山と連携し、相乗効果を狙う。
- ・リニモテラスとの連携について
  - ・リニモテラスとの一体運用、リニモテラスと一体化して展示スペースを確保。
  - ・リニモテラスと古戦場公園を結ぶ木製デッキが欲しい。
- ・その他
  - ・古戦場公園と色金山を結ぶルート両側の街並み景観の整備。
  - ・長久手市全体をフィールドミュージアムにして、公園は古戦場に特化すべき。
  - ・運用は市民で、市民から運用の受け皿を募集してはどうか。



## 1-4. 古戦場公園再整備基本計画策定第3回市民ワークショップの概要

日時：平成28年1月18日(月)午後6:30~8:55 参加人数：25名

### ■第3回市民ワークショップの様子

#### ■施設配置の投票結果

- ・主要施設の東西分離案と東側ゾーン集約案の評価についての投票結果（出席25名、内提出21名）
  - ・東側ゾーン集約案が優れているとする評価 16票
  - ・東西分離案が優れているとする評価 2票
  - ・両案同程度の評価 3票



#### ■施設についての意見交換

- ・歴史資料館は、木造2階建、デザインは全国公募コンペで。
- ・トイレは観光地として重要。
- ・資料館に限定せず、色金山・御旗山等へランドマークで繋ぐ。
- ・茶屋には長炉端や囲炉裏を設け、市民の寄合い等に貸出、千成団子や五平餅を提供。
- ・古戦場公園には、市民の集う場として水場・コース、茶屋が必要。
- ・多目的施設は、体験、リピート性、癒し機能が重要。
- ・多目的棟は、公設民営でフリースクールを作りたい。

#### ■展示についての意見交換

- ・長久手の戦いの3D映像
- ・静的展示は限界、大型ディスプレイ・バナーで誘導検索
- ・明治初期の地図
- ・縮景と実際の地図を照合できる表示
- ・守ってきた人の物語
- ・小牧・長久手の戦いの全体図と現代の対比
- ・昔の写真を集めて展示
- ・江戸期の道
- ・市内の史跡地図（街中博物館）
- ・小牧・長久手の戦いの遺品（各民家の収蔵品）
- ・長久手の遺跡の歴史的意義の説明
- ・昔話「八左衛門の話」
- ・前熊の山車レプリカ
- ・定期的な棒の手体験会
- ・3地区の警固祭りの標具
- ・日本外史（頼山陽）



## 1-5. 古戦場公園再整備基本計画策定第4回市民ワークショップの概要

日時：平成28年2月12日(金)午後6:30~8:50 参加人数：18名

### ■第4回市民ワークショップの様子

#### ■運営計画についての意見交換

- ・観光交流協会が運営の主体となる。
- ・常駐の学芸員がいれば、ガイドなどで協力できる。
- ・市民・関連団体・行政・大学連携の合成組織
- ・商業隣接立地を活かし、かせげる公園を目指す。
- ・公民が一緒に観光ボランティアをつくる。
- ・市民でパークマネジメント団体をつくりたい。
- ・古戦場を使い日本一の市民力を発揮。
- ・用意された公園はクレームの対象だが、自分達で作る公園はみんなで汗を流す対象。
- ・旧市民ではなく、新市民が参加したくなるかたち 市内に絞らず、歴史の思いで集まる。
- ・公金に頼ると制約が発生、収益構造から皆で考え、依存しない、自由に運営できる組織。
- ・「将来世代のため」共通目的を設定する 主体的に取り組みたい人をしっかり掘り起こす。
- ・専門的知識は必要→講習会の開催。



#### ■フィールドミュージアム計画についての意見交換

- ・活かすべき資源
  - ・県指定文化財（警固祭り、オマント、棒の手）
  - ・御嶽山・御旗山等の里山、三ヶ峯等の農地
  - ・県芸大・農業総合試験場の畑や森林
  - ・色金山三十三観音（三十一体现存）
  - ・前熊の石仏や道標、講（おたや）、岩作あんどん
  - ・こども塾、竹林、うすずみ桜、千本桜
  - ・香流川沿いサイクリングロード
  - ・モリコロパークの日本庭園、森林
  - ・安昌寺～三光院の城東三十三観音巡り
  - ・景行天皇社等神社めぐり、弘法堂
  - ・猿投山西南麓古窯跡群の古窯
  - ・大草山付近の蓮、子泣き岩、杵ヶ池
- ・ルートの提案
  - ・2時間戦国・古代コース
    - ・古戦場公園—武蔵塚—血の池—長久手城趾—景行天皇社—御旗山—堀久太郎秀政本陣地跡—首塚—色金山—多度神社—前熊寺—神明社—モリコロパーク
  - ・長久手グルメコース
    - ・古戦場公園—杵ヶ池公園及び周辺グルメ店舗—市ヶ洞周辺グルメ激戦地域—はなしょうぶ
  - ・歴史散策ルート例
    - ・学習（小・中学校向け）、市民一般（市民講座）、歴史愛好家、観光のついで、ウォーキング、シニアの時間つぶし、歴女←長久手市ホームページ・観光団体から情報発信
  - ・シャトルバスルート
    - ・リニモ沿線ルート
      - ・杵ヶ池公園—古戦場公園—色金山—あぐりん村
      - ・モリコロパーク—県立芸大—農業総合試験場—古戦場公園—杵ヶ池公園及び周辺グルメ

## 1-6. 古戦場公園再整備基本計画策定第5回市民ワークショップの概要

日時：平成28年11月17日(木)午後6:30~9:00 参加人数：15名

### ■第5回市民ワークショップの様子

#### ■意見交換（計画をさらに充実させるためにはどうしたらよいか）

##### ・公園の位置づけについて

- ・ここは史跡公園であるため、それにふさわしい品位のある整備、体制づくりをする。
- ・全国に3箇所しかない「古戦場」の国指定史跡地の一つとする位置づけは重要。
- ・古戦場公園は、都市公園でなく史跡公園。
- ・西側の施設を小学生対象に積極的に利用するような方向に持っていく。



##### ・公園環境について

- ・ソメイヨシノの治療は市民グループが担当、桜の植栽・伐採等は造園業者が分担する。
- ・公園整備の影響を受ける西側住民はどのように考えているのか。
- ・西側ゾーンは、つくることが体験できるかたちでやっていく
- ・駐車場もバリアフリー環境にする。 ・駐車場を広場として利用できるようにする。
- ・バスと自動車の駐車場は、安全性を考慮し、集約した方が良い。
- ・自転車対策は出来ているのか。 ・公益施設に駐輪場を整備する。
- ・飲食施設は、西側に集約した方が良い。東側は休憩所だけでいい。
- ・ライブラリーカフェは広いが何のために必要なのか、展示を多くした方がよい。
- ・庭園散策路の脇にせせらぎがほしい。
- ・東西連絡園路は、幅員2m程度で自然舗装する。 ・史跡内にチップを敷き樹木を保護。

##### ・リコモテラスとの連携について

- ・リコモテラス公益施設と古戦場を結ぶ歩道橋は前提条件。
- ・リコモテラス公益施設と一緒に計画を進めるべき。

##### ・ガイダンス施設について

- ・ガイダンス施設は、地下はRCで、1階は木造（まちづくりの方針）でやる。
- ・建築はこちらが条件を決め、コンペでプロに提示してほしい。
- ・ガイダンス施設に魅力が欲しい。 ・他から良いといわれる施設をつくる。
- ・ガイダンス施設は落ち着いた色で整備する。
- ・建築と展示の関係があまり感じられない。吹き抜け・階段を使い立体的に見せる。
- ・ガイダンス屋上は芝生にする。



#### ・古民家について

- ・古民家は維持管理費が大変かかる。 ・古民家移築は、採算も含め検討する。
- ・民家は、移築ではなく、昔の工法で新築すれば楽しく参加ができる。
- ・古民家は、市民で愛着を持てる家づくりをする。

#### ・展示について

- ・皆さんが持っている火縄銃を集める（ガイダンス施設に預けてもらうなど）。
- ・収蔵スペースを充実し、文化財（財産）の保管、展示のセキュリティーをしっかりとする。
- ・火縄銃展示は日本一を。所有者から火縄銃を預かり、祭りの時は展示室から持ち出す。
- ・警固祭りと連携する。
- ・展示は季節ごとに展示物を替える。見せ方にオリジナリティー、インパクトが必要。
- ・展示の見せ方は、もっと市民の意見を聞き訪れる人が喜ぶ見せ方をして欲しい。
- ・デジタル展示は、AR だけにして、地域を繋ぐ。 ・AR 古戦場めぐりは面白い。
- ・デジタル展示予算をほかに使う（バーチャルよりリアルが重要）。
- ・特別展（オマント・棒の手・亜炭・昔の暮らし・農業展示）などローテーションでやる。
- ・展示室には、等身大の武将のレプリカを展示する。
- ・展示室を区切らない。施設ありきではなく、内容を十分市民が協議して施設を決める。
- ・西側の納屋の展示物について農業センターと連携をする。
- ・収納物を確認した上で収蔵庫を考えるべき。
- ・展示スペースありきではなく、何をどう展示するかで展示・スペースを決めることが重要。
- ・合戦屏風を動くインタラクティブでやる。
- ・長久手合戦情報の日本一を目指す。

#### ・運営について

- ・運営の人材育成、ボランティアに対する専門知識等の講習などをどうしていくのか。
- ・市民管理と市や業者の管理の区分を明確化する。
- ・企画・管理・運営は責任の持てる人、学芸員資格のある複数の人を配置する。
- ・レンタサイクルを運営、色金山までレンタサイクルでいけるようにする。
- ・市民がつくっていく公園・建物になるような仕組みが必要。
- ・仕組みが無いのに呼びかけても参加は難しい。
- ・実際に携わる人の募集を早くして、意見を反映して欲しい。
- ・質の高い人員の育成方法、これは官の施策方針ではないのか（市民大学とか）。
- ・運営について各テーマ毎の積み重ねで決議をしていく。
- ・なんらかのかたちで古戦場に関わりたいので常に情報を流して欲しい。
- ・パークマネージメント団体の立ち上げを早急にして欲しい。

## 2. 古戦場公園再整備基本計画策定に関するアンケート調査報告書

**趣旨：**基本構想の成果をベースとし、市民のアイデアを結集し、国指定史跡地にふさわしい魅力的な古戦場公園を再整備する。

：市内の歴史・景観資源を活かし、市内フィールドミュージアム化を行い、他都市との交流や観光振興を推進すると共に、楽しく、生きがいのある市民生活を創造する。

・**目的：**古戦場公園は、市民がつくり、市民が運営に参画し、リニモテラスや市内の回遊拠点と連携しつつ、市民や来訪者に満足して頂く公園である。

：このため、できるだけ多くの市民の意見を古戦場再整備基本計画に反映させるため、アンケートを実施する。

### ・アンケート調査の開催：

：アンケート調査は、

1. 「古戦場公園再整備基本計画策定に関するアンケート調査」

アンケート調査実施期間：平成 27 年 11 月 20 日～12 月 7 日

アンケート回収数 345 件

2. 「古戦場公園再整備基本計画策定 講演会アンケート調査」

アンケート調査実施期間：平成 28 年 1 月 9 日

アンケート用紙設置場所：長久手歴史講演会「小牧・長久手の戦い秀吉・家康の戦略と戦術を迫る」会場、長久手市文化の家 森のホール

アンケート回答件数 : 302 件

3. 「自分のお気に入りスポット写真募集」

アンケート調査実施期間：平成 28 年春休み

アンケート対象：長久手市内の小学校 6 校、中学校 3 校

アンケート応募数：8 件

4. 平成 28 年度長久手市郷土資料室特別展「小牧・長久手の戦い」アンケート調査

アンケート調査実施期間：平成 28 年 11 月 18 日～12 月 18 日

アンケート用紙設置場所：長久手市郷土資料室

アンケート回答件数 : 416 件

以上 4 回実施し、計 1,071 件の回答を得た。

## 2-1. 古戦場公園再整備基本計画策定に関するアンケート調査概要

アンケート調査実施期間：平成27年11月20日～12月7日 アンケート回収数 345件

(1) 古戦場公園に関してどう思いますか。

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
1 全体として	81	125	62	30	17	30
2 公園内の風景	100	152	31	15	19	28
3 東方向眺望	61	99	48	21	66	50
4 郷土資料室の展示	45	86	68	63	41	42
5 郷土資料室の物販	30	73	54	48	96	44
6 飲食サービス	45	72	55	53	74	46
7 トイレ環境	34	74	82	78	39	38
8 園路環境	71	126	66	22	19	41
9 休憩環境	59	107	81	34	25	39
10 樹木	106	140	35	12	17	35
11 縮景、芝生園地	104	136	25	17	20	43
12 和弓場	85	76	31	16	82	55
13 サイン・案内看板等	40	95	69	41	49	51
14 駐車場・交通環境	62	109	69	44	21	40

(2) これからの古戦場公園に残したいもの、改良したいもの、無くしたいものは何ですか。

項目	残したい	改良したい	無くしたい	無回答
1 郷土資料室	181	117	3	44
2 歴史展示	184	116	3	42
3 物販・飲食施設	137	147	12	49
4 和弓場	203	54	22	66
5 トイレ	136	165	1	43
6 園路・休憩	187	110	0	48
7 縮景	231	67	3	44
8 サイン	143	146	5	51
9 駐車場	179	117	6	43
10 樹木	255	50	1	39

(3) これからの古戦場公園に新たに導入したいものは何ですか。

項目	導入したい	必要ない	無回答
1 ガイダンス	149	96	100
2 農村体験	141	113	91
3 流れ、池	140	120	85

(4) 以下の項目について古戦場公園とリニモ長久手古戦場駅地区のどちらにあった方が良いと思いますか。

項目	古戦場公園	駅前地区
1 観光・インフォメーション機能	130	223
2 集会・交流機能	173	123
3 飲食・物販機能	174	179

## 2-2. 古戦場公園再整備基本計画策定 講演会アンケート調査の概要

アンケート調査実施期間：平成 28 年 1 月 9 日

アンケート用紙設置場所：長久手歴史講演会「小牧・長久手の戦い秀吉・家康の戦略と戦術を追う」  
会場、長久手市文化の家 森のホール

アンケート回答件数：302 件

アンケート調査表概要：

アンケート調査表は、記入者の住所、性別、年齢、会場への交通手段、講演会の感想、講演会を知った手段、講演会への参加理由、興味のある分野を記入頂き、古戦場公園再整備計画（案）の概要を説明した後、古戦場公園再整備に関する認知度、古戦場公園訪問の有無、古戦場公園訪問の目的、古戦場公園への思い、残したいもの・改善したいもの、古戦場公園の展示・企画への希望等をアンケート欄へ記入を求める形式とした。

### アンケート調査結果

回答者の住所については約半数が長久手市在住、性別は約 60%が男性、年齢は、60 歳以上が約 60%となっており、再整備に関する認知度は約 45%となっている。

公園への訪問回数は、無いが 12%、年 2 回以上が 75%を占めており、訪問の目的は、郷土資料室見学、史跡見学、花見、古戦場桜まつり、公園内散策、休憩、飲食、弓道の順となっている。

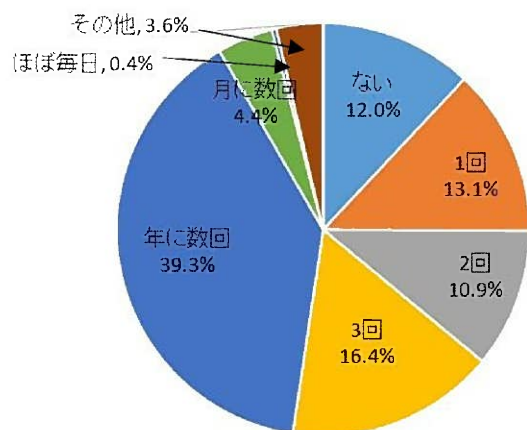
公園については、縮景・芝生園地、和弓場の満足度は高いが、郷土資料室の展示・物販、飲食サービスは不満が多数を占めている。

公園に残したいものは、縮景、芝生園地、和弓場が多く、改良して残したいものは、郷土資料室の展示・物販、飲食サービス、園地環境・案内・サイン、休憩施設、駐車場があげられている。

訪問した場所については、長久手古戦場、色金山、鎧掛の松、首塚、長久手城趾、御旗山、木下勘解由塚、岩作城跡、堀久太郎秀政本陣地跡、大草城跡、神明社第 2 号古墳、三ヶ峯第 3 号窯の順となっている。

### アンケート内容

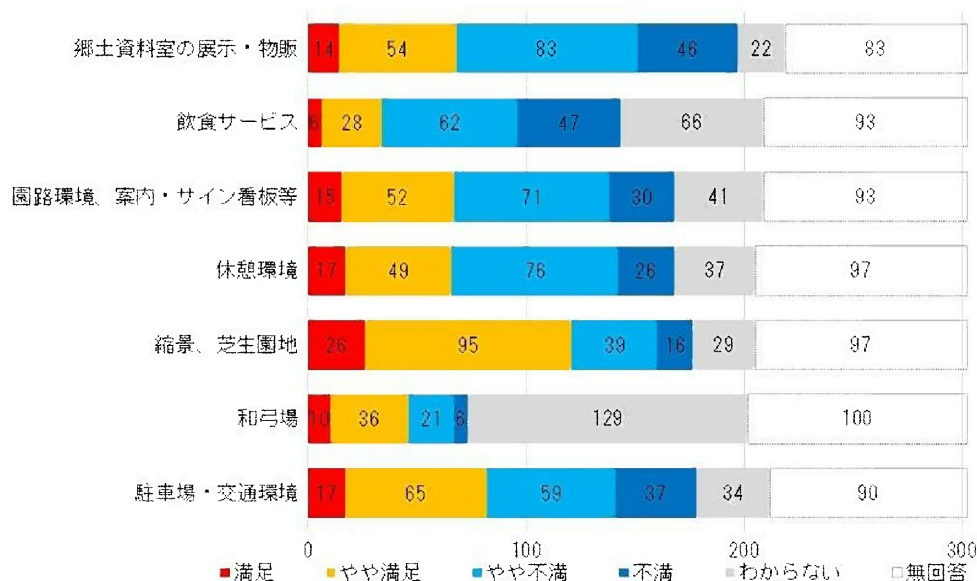
・古戦場公園を訪れたことはありますか



・どのような目的で訪れましたか？(複数回答可)



・現在の古戦場公園に関してどう思いますか？



・古戦場公園にそのまま残したいもの、改善したうえで残したいものは何ですか？

(問 12 の番号①～⑦でお答えください。(各 3 つまで))

項目	残したいもの	改善したうえで残したいもの
① 郷土資料室の展示・物販	24	53
② 飲食サービス	5	27
③ 園路環境、案内・サイン看板等	12	21
④ 休憩環境	10	16
⑤ 縮景、芝生園地	38	13
⑥ 和弓場	17	8
⑦ 駐車場・交通環境	10	21

・古戦場公園の展示や企画で希望するものは何ですか？

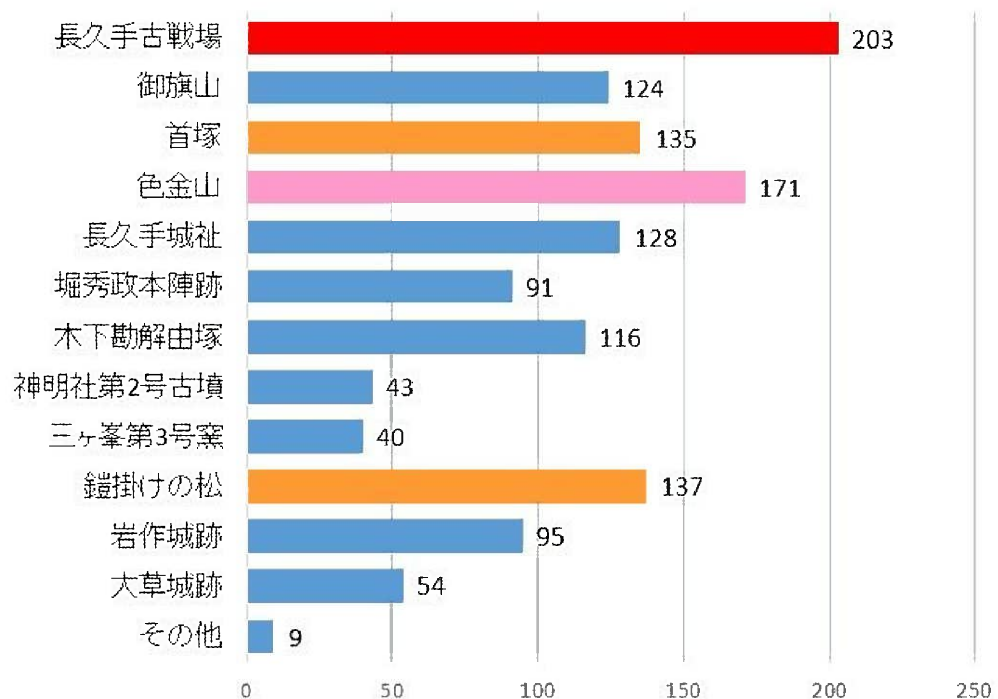
- ・できるだけ当時の状態を残して欲しい。
- ・公園化や作りものは不要。
- ・案内は看板等でわかりやすく。
- ・資料室は充実させて欲しい。
- ・近代長久手の歴史展示もあればよい。
- ・展示がいつも同じなら楽しみがないので工夫を。
- ・展示をリニューアルして郷土文化の発信基地に。
- ・ふるさと文化の価値付けを考える企画を。
- ・発達段階に応じた郷土史探訪教育プログラム。
- ・史跡解説案内ボランティアの育成とそのための資格取得講座。
- ・小牧・長久手の戦いのことにきちんとスポットを当てられる場にして欲しい。
- ・古民家移築も良いが、「歴史を魅せる」ことを一番大切にして欲しい。

- ・古戦場とリニモ駅前を結ぶ陸橋、天候に左右されない透明のドーム通路。
- ・全体の見取り図の看板を数箇所に設置して欲しい。
- ・ジオラマや動画を使ってアピールしてください。
- ・合戦を体験できるような仕組み。
- ・自然を上手に残す、手は加えても良い。
- ・古戦場に限定せず、長久手の歴史を展示して欲しい。
- ・若い人に広めるのも大切、アニメファンに発信してもらって皆を集める。
- ・関ヶ原の展示場はビデオ映像があり、わかりやすい。
- ・長久手の歴史、文化、民俗、他地域との関連。
- ・郷土史関連古文書勉強会を開催して頂くと長久手の歴史を深く知ることができる。
- ・長久手市が所蔵している古文書があれば見てみたい。
- ・イベントを開催して、もっと遠くの地域から観光客を呼ぶ。
- ・さくらのライトアップを復活して欲しい。
- ・駐車場を広く整備して欲しい。
- ・公園内園路を充実。
- ・近代的建物によるロボットの展示を。
- ・小牧・長久手の戦いに参戦した諸将の軸、各碑の説明書。
- ・鉄砲、棒の手の実演
- ・色金山展望台で遠望できるよう雑木の伐採。
- ・古い街並みやお店を再現し、おかげ横丁のように集客率を高め、観光スポットとして活性化、昔の生活・遊びの体験などもあると面白い。
- ・昭和30年まで盛んであった亜炭採掘の坑内夫の生存者はほんの数名、ジオラマも現実とはずいぶん違う、ぜひ、話を聞いてもらい、DVD化して採掘の様子を残して欲しい。
- ・駐車場に大きな場所を費やすのは無駄。
- ・市民の健康増進に寄与する施設を優先させるべき、古戦場に武道センターを。
- ・長久手の戦いに特化した展示+戦国時代。
- ・有料でもいいからもっと立派な施設を要求します、長久手の一大観光地に。
- ・展示物をもっと増やして欲しい。
- ・展示が古い。CG等の再現を入れ、時間経過もわかりやすいビデオ展示を。
- ・市が洞（ほとぎの里）で発掘された7~8世紀の時代展示。
- ・長久手弁当を作ってほしい。
- ・ベンチをもっと作ったほうがよい。
- ・小牧・長久手の戦いの情報がわかる企画展が見たい。
- ・池田勝入を討ち取った永井直勝についての説明。
- ・戦具、防具が少ない。
- ・市内の史跡などの説明、散策コースの案内等の情報センターにする。
- ・歴史公園の位置づけを明確にし、小牧・長久手合戦が興味深くなるビジュアルでわかりやすい展示・解説を、現代の情報ツールを活用。



- ・古戦場グッズを販売してはどうか。
- ・長久手合戦関連のウォーキング、パネル展示、ミニ講座。
- ・近代的な展示施設は必要ない、現在の昔の展示を願います。
- ・小牧山城、三河武士の館など大阪城の展示は良くできている。
- ・戦場マップは必須、ビデオを戦略面から作って欲しい。
- ・デジタル画面の充実。
- ・県の農業試験場の農業資料館をこちらに移管しては。
- ・提携している南木曾町の観光物産も展示しては。
- ・資料館建設について地形などをあまり触らぬように、保存が破壊にならないよう。
- ・各碑への方向指示板、各将の肖像画も併記。
- ・長久手の古代から遺跡、その他民俗資料。
- ・警固祭、棒の手大会。
- ・建物をもっと大きくして、展示物をもっと多くする。
- ・食堂等休憩スペースを大きくする。
- ・武将隊を復活させてほしい。
- ・今の自然をそのまま残せばよい、田をつぶして箱物や商業施設はこれ以上不要。

・合戦にまつわる史跡など市内の史跡を訪れたことはありますか？（複数回答可）



## 2-3. 自分のお気に入りスポット写真募集概要

自分のお気に入りスポット写真募集は、長久手市内の小学校 6 校、中学校 3 校で春休みに実施し、8 件の応募があった。

### ①お気に入りスポットと②お気に入りの理由

武蔵塚	1 件	・春になるとサクラが綺麗だから、森長可（森蘭丸の兄）の墓だから
大草城跡	1 件	・城跡を見て、こんな城かなと想像しながら歩くと面白い ・頂上から東小学校区の景色が見渡せる
古戦場公園	2 件	・学校行事で行ったり、家族でもたくさん行っているから ・芝生も広がっていて、とても落ち着けるし、資料館で勉強ができるから ・ここに入ればはずしくなる（夏）
血の池公園	2 件	・満開のサクラがとても綺麗だから、落ち着く雰囲気だから ・春になるとサクラが綺麗で、自転車の練習が出来て名前が面白いから
せせらぎの道	1 件	・小さい頃からよく通っていた道だから
血の池公園鎧掛の松	1 件	・武士が休憩の時、鎧を掛けた場所

### ③新しい古戦場公園で体験したい内容

選択肢	集計表	
1. 手作り古民家の建築作業の体験	1	4 件
2. 昔ながらの農作業、農機具の使い方の体験	2	2 件
3. 発掘された土器をさわったり、かけらを集めて元通りする復元作業	3	6 件
4. 棒の手をはじめとした伝統文化の体験	4	3 件
5. 古民家で語り部の昔話を聞く体験	5	2 件
6. 昔の子供の遊び、おもちゃ（コマ、竹とんぼ）づくり体験	6	3 件
7. 藁細工、竹細工体験	7	4 件
8. 郷土料理づくり体験	8	5 件
9. その他	9	6 件

### その他の体験内容

- ・ジオラマ映像。その場所で起こったことがわかる映像があるといい。
- ・史跡でスタンプラリー。
- ・弓道の体験。
- ・昔の人が着ていた服の試着、今は食べないが昔の人々が食べていた物を食べてみたい。
- ・小牧・長久手の戦いについて、まったく知らない子供がわかるように解説して欲しい（紙芝居、劇など）。
- ・昔の暮らし体験。
- ・甲冑づくりがしたい。

2-4. 平成28年度長久手市郷土資料室特別展「小牧・長久手の戦い」アンケート調査  
(古戦場公園再整備に関する部分)の概要

1. 再整備後の古戦場公園で体験したいことは何ですか。

土器復元	建築	農業	語り部	棒の手	あそび	わら・竹 細工	郷土料理	その他	回答数
94	52	36	71	52	63	34	45	22	469
20.04%	11.09%	7.68%	15.14%	11.09%	13.43%	7.25%	9.59%	4.69%	100.00%

2. 展示室等の入場料について、ご意見をお聞かせください。

有料	内容による	無料	その他	回答数
38	167	134	3	342
11.11%	48.83%	39.18%	0.88%	100.00%

- ・100～200円くらいなら。
- ・先ず入場料を取れる内容にすること。

3. 再整備後の古戦場公園の駐車場について、ご意見をお聞かせください。

同程度	拡大	その他	回答数
272	35	14	321
84.74%	10.90%	4.36%	100.00%

- ・史跡環境を損なわないことを大切にしたい。
- ・イオンモールの駐車場にならないような工夫。

4. 再整備後に公園の運用、活用に市民のみなさんが携わって頂く役割があれば記入してください。

剪定	ボランティア ガイド	ゴミ拾い	トイレ掃除	その他	回答数
12	27	30	5	23	97
12.37%	27.84%	30.93%	5.15%	23.71%	100.00%

- ・イベント告知。
- ・僅かでも有償にすればやり甲斐、責任が持てると思う。
- ・ガイド（日本語、その他）。
- ・定期的市民参加イベント開催。
- ・公園内の清掃。
- ・体験コーナーボランティア

5. その他、古戦場公園再整備基本計画について、ご意見がありましたらお聞かせください。

- ・今あるものをうまく残しつつ、市民や市以外の方に来て頂けるようなPRをして欲しい。
- ・史跡環境を損なわないように、歴史と文化を発信できる再整備にして欲しい。
- ・まずは市民全てが一度は行ったことがあると言える公園になって欲しい。
- ・古戦場らしく、静かでおちつきのある公園にして欲しい。
- ・縮景が来場者に実感できないので、残すならもっと分かりやすくした方がよいと思う。
- ・何度も来なくなる展示があるといいと思う。

### 3. 古戦場公園再整備基本計画策定に関する意見交換会報告書

#### 3-1. 古戦場公園再整備基本計画策定夏休み ワイワイ 古戦場公園意見交換会の概要

- ・夏休み期間中の8月5日(金)、6日(土)、19日(金)、20日(土)長久手市内の6小学校に出向き、郷土史研究会による小牧・長久手の戦いのお話、市職員による古戦場公園再整備基本計画(案)の説明、意見交換会とアンケート調査を行い、ミニ軍配作りや歴史クイズを実施した。

意見1:責任の主体を明確にして欲しい。サクラの木の保存を考えて欲しい。

意見2:国指定史跡地の整備ということで一貫して、将来を見越した整備をして欲しい。

意見3:交通・安全・防犯対策をしっかりと考えて欲しい。

意見4:古戦場公園を整備するにあたって、入場料収入など採算をしっかりと考えていって欲しい。大型商業施設との連携をしっかりと考えて欲しい。

意見5:資料館には本物を展示して欲しい。本物の展示をするときには体裁をしっかりと整えて欲しい。学芸員駐在の資料館にして欲しい。

意見6:近代の長久手の歴史に垂炭はかかせない。垂炭採掘に関わった人たちの声を聞いて、新しい施設の展示に反映して欲しい。

意見7:駐車場の整備は台数が少ないのでは。イオンができると近隣住民に迷惑になることなので、しっかりと考えて欲しい。

意見8:想定来場者数をしっかりと予測した形で、駐車場整備などを行って欲しい。

意見9:フィールドで史跡を巡るアイデアは良いと思う。埼玉県の川越市では、史跡地の他に買い物する場所等を巡る乗降自由のバスがあったので参考にしたい。

意見10:岡崎城公園の資料館前でやっている武将隊の握手会イベントなどを参考にしたい。

意見11:木の保存をしっかりとって欲しい。駅から古戦場に行くルートを作って欲しい。(瀬戸大府線の上に通路)

そのルートをしっかりと整備して市民が歩きやすいようにして欲しい。4月9日を長久手合戦の日にしてイベントを開催してはどうか。

※同じ内容の意見については集約して掲載しています。

#### ○古戦場公園意見交換会アンケート まとめ 回答数 57/89 人

##### 1 古戦場公園に行ったことはありますか?

ない0人、1回0人、2回4人、3回5人、年に数回35人、月に数回5人、  
ほぼ毎日2人、その他4人(3回よりは多い、数年に1回、週に数回、10回以上)

##### 2 古戦場公園で体験したいことは何ですか。(複数回答可)

1 手作り古民家の建築作業の体験	11人
2 昔ながらの農作業、農機具の使い方の体験	7人
3 発掘土器をさわったり、かけらを集めて元どおりにする復元作業	21人
4 棒の手をはじめとした伝統文化の体験	24人

- 5 古民家で語り部の昔ばなしを聞く体験 11人
- 6 昔の子どものあそび、おもちゃ（コマ、竹とんぼづくり体験） 17人
- 7 わら細工、竹細工体験 14人
- 8 郷土料理づくり体験 16人
- 9 そのほか ご自由にお書きください  
 甲冑着用体験（3名） 火縄銃の実演、体験（2名） 段ボールよろい、かぶと、ミニ軍配づくり 合戦参加をイメージした武将のコスプレ撮影会 武将隊復活 剣道、居合い、乗馬、弓道体験 ボランティアで樹銘板を取り付け
- 3 資料館の展示方法はどんなものがよいですか。また、展示してほしいものは何ですか。（複数回答可）
- 1 合戦の様子がわかるジオラマ 35人
- 2 映像による解説 35人
- 3 スマートフォンを使った解説 15人
- 4 スマートフォンを使ったバーチャル映像 18人
- 5 そのほか ご自由にお書きください  
 合戦屏風の美しい複製が見たい スコープをのぞくと当時の戦いの様子がわかるもの  
 多数の火縄銃を展示する 体験できるもの わかりやすい展示 展示品を充実させる
- 4 古戦場公園で売っていたらほしいグッズは何ですか。（複数回答可）
- ミニ合戦図屏風 24人
- 絵はがき 16人
- ストラップ 15人
- しおり（ブックマーク） 11人
- クリアファイル 14人
- うちわ・扇子 16人
- エコバッグ 7人
- アクセサリ 3人
- 一筆箋 14人
- ハンカチ・タオル 11人
- シール 10人
- そのほか ご自由にお書きください  
 徳川家康など各武将にちなんだ武将グッズ（2名） 食べ物 武将カード  
 てぬぐい 合戦（歴史）の本 記念メダル販売機 地元のみやげ  
 古戦場で長久手をアピールできるもの 合戦図屏風が表紙の絵はがきセット
- 5 そのほか ご自由にお書きください。

(公園)

- ・皆さんに親しまれ市民の憩いとなる、リピーターを呼べる魅力ある公園にして欲しい (4名)。
- ・ベンチを増やして欲しい (2名)。
- ・森の中にたくさん道を整備して、楽しく回れるようにして欲しい。
- ・小牧・長久手の戦いに特化した公園 (3名)。

(資料館・ガイダンス施設等)。

- ・史跡の表示に工夫を。興味をもてるパネルの設置、解説 (2名)。
- ・古文書、軸 (複製で構わない) をもっと数をそろえて充実して欲しい (2名)。
- ・陣営ののぼりを立てるとか、当時の戦いの様子がわかる施設にして欲しい。
- ・敷地の一部をジオラマにしてはどうか。
- ・ガイダンス施設は古戦場に関するを集め、郷土史関連は歴史民俗体験施設に集中させる。
- ・亜炭採掘の様子を映像化して見られるようにして欲しい。
- ・学芸員の常駐。
- ・資料館を市内各保有団体等の活動拠点とする。
- ・公園の宣伝方法に工夫をし、全国に発信。
- ・特別展、企画展を年間を通し開催する。
- ・フィールドミュージアムは、スマホを用いて史跡スポットを回るスタンプラリーのようなもの。  
(イベント等)

- ・火縄の発砲許可。
- ・子どもが参加できる武将隊を作ってほしい。
- ・ヒーローを仕立てて、その人を軸にしたドラマを作成して PR (家康 or 池田恒興)。
- ・子どもに古戦場を知ってもらい、世代が替わっても大切に思ってもらえるようする。

(駐車場・交通手段)

- ・駐車場を広くして大型バスがとまれるように。
- ・色金山公園への道をわかりやすく。交通手段も。歩くには高齢者の足では遠く感じる。
- ・基地に電動自転車を準備し、貸し出す。

(その他)

- ・現在の喫茶店があまりきれいでないので一般の人が入りにくい。
- ・緑を生かした茶店を希望。
- ・新しい商業施設も楽しみです。長久手の古戦場もどんな風にできあがるのか楽しみです。



### 3-2. 古戦場公園再整備基本計画策定 長久手市郷土史研究会との意見交換会報告書

#### 1) 古戦場公園再整備基本計画策定 第1回長久手市郷土史研究会との意見交換会の概要

平成28年9月24日(土) 午前9時30分～

#### ■古戦場公園再整備基本計画策定 第1回長久手市郷土史研究会意見交換会 発言まとめ

#### 1 公園整備後の郷土史研究会の役割について

##### (1) 東側ゾーン ガイダンス施設について

- ・ガイダンス施設の名称は日本語名で分かりやすくすること。
- ・いろいろな意見を取りまとめて、みんなの魂をいれて、それらを活かす計画にしたい。
- ・新しい施設では、新しいものを展示して欲しい。現在、所蔵庫に納めてあるものを展示して欲しい。
- ・犬山市や小牧市との展示とは差別化したい。
- ・もっとイメージが湧くように施設計画の資料(叩き台)を見せて欲しい。
- ・棒の手、警固祭りをしっかり調査して展示していきたい。三地区の標具、馬道具など。
- ・小牧・長久手の戦いをしっかりガイダンスしていきたいが、ガイダンス施設の規模が小さい。
- ・展示を1階と地下階とで分けて展示すると一体的な展示にならない。

##### (2) 西側ゾーン

###### ① 歴史民俗体験施設について

- ・古民家を想定しているというが、大変な維持管理がかかる。近代的な建造物の方がよい。
- ・古い時代の農機具を展示しても、みんな興味を示さないのではないか。
- ・研究機関としての役割を持たせたい。
- ・農機具は、数を少なくして、インパクトのあるもので展示を考えたい。
- ・農機具を納屋に押し込めるだけではいけない。腐らせるだけである。
- ・現代の農作業と古い時代の農作業の違い(耕し方、稲刈り、年間の作業、1日の作業を比較するなど)を紹介しても面白い。

###### ② 多目的休憩所について

- ・もう少し機能を教えてほしい。

#### 2 その他

- ・「古戦場公園配置計画図」は決まっていることなのか。決まっていることならば、先ず、市民ワークショップにおいて説明してほしい。
- ・県の農業総合試験場の中に農機具を展示している施設がある。これら展示物を長久手市がもらい受け、古戦場公園で展示できるようにしてはどうか。
- ・老木となった桜をどうするか考えたい。
- ・計画決定のプロセスを示してほしい。
- ・駐車場が少ない。
- ・郷土史研究会では史跡ガイド会員が20名在籍しているが、実際には8名ほどの実働でガイドしている。
- ・多くの要望に応えられない状況である。郷土史研究会以外にもガイドができるようにしたい。例えば、シルバー人材センター会員にガイドをしてもらうなど考えたい。

## 2) 古戦場公園再整備基本計画策定 第2回長久手市郷土史研究会との意見交換会の概要

平成28年10月23日(日) 午前9時30分～

### ■古戦場公園再整備基本計画策定 第2回長久手市郷土史研究会意見交換会 発言まとめ

#### 1 公園整備後の郷土史研究会の役割について

##### (1) フィールドミュージアム

- ・VR、ARなどは、難しいし大変なので、キャンバスに絵を描いたり、写真を多用して、史跡の解説、案内用パネルなど作成してほしい。他市町のガイドはインカムとスピーカーを使っていた。
- ・史跡地に木が茂っているため、眺望が遮られている。
- ・「長久手古戦場」以外の文化財にも市民の関心、ニーズが高まっていると思う。郷土史研究会としてもこのようなニーズに応えるため、勉強していきたい。
- ・「ほとぎの里」がクローズアップされている。「長久手みなみ里山クラブ」という団体が保全を行っているので協力、連携していきたい。「ほとぎの里」の案内板の解説をわかりやすくしたい。
- ・「耳塚」は、耳塚と書かれた石柱(入口)と塚との距離が離れている。

##### (3) 今後のボランティアガイド育成

- ・小学生にも史跡の関心を持ってもらいたい。小学校(5、6年生)へ要請してほしい。日進市や江南市の学校からは史跡案内の申込があるが、長久手市内の学校からは申込がない。遠足で史跡地に来て欲しい。
- ・いろいろなレベルに応じたガイドが必要である。
- ・子どもガイドを養成して、子ども同士で史跡ガイドしても面白い。
- ・市民大学でもガイド委員への参加を呼びかけたい。
- ・ガイドの高齢化が課題である。

#### 2 その他

- ・現在、郷土資料室には喫茶室があるが、別の場所へ移動させて、展示スペースを増やして欲しい。
- ・資料室では、喫茶室からの話声がうるさくてガイドできないことがある。
- ・半田のミツカン酢の資料館では、バーチャル映像を使ってガイドダンスしていた。新しい施設では、バーチャル技術で屏風図を映像化してはどうか。
- ・西側ゾーンへは古民家ではなく、収蔵庫、研究施設を整備したい。収蔵資料を充実させたい。農機具の展示は充実させたい。
- ・郷土史研究会との意見交換会で出た意見をまとめたものをみせて欲しい。

### ■第2回長久手市郷土史研究会との意見交換会の様子



## 4. 古戦場公園再整備基本計画策定有識者会議報告書

### 4-1. 古戦場公園再整備基本計画策定第1回有識者会議の概要

日時：平成28年5月26日（木）午前9時55分から午後0時10分

場所：長久手市エコハウス 多目的室

出席委員：座長 名古屋市立大学名誉教授 瀬口 哲夫

各分野の代表者：長久手市文化財保護審議会 田中 義和

長久手市文化財保護審議会 井藤 繁之

長久手古戦場野外活動施設運営委員会 水谷 栄太郎

長久手古戦場野外活動施設運営委員会 山村 亜希

長久手市郷土史研究会 加藤 武

長久手市郷土史研究会 伊藤 善彦

長久手市観光交流協会 布垣 直昭（欠席）

長久手市観光交流協会 堀場 修二（欠席）

オブザーバー 愛知県教育委員会 生涯学習課文化財保護室 松本 彩

文化庁 文化財部記念物課 五島 昌也（欠席）

事務局 長久手市くらし文化部 高嶋部長、加藤次長

生涯学習課 横地課長、若杉課長補佐、森係長、奥村主事

榎地球号 中見、和田

会議の趣旨：本会議の趣旨は、平成26年度に策定した古戦場公園再整備基本構想に基づき、より多くの市民の意見を反映して、より具体的な計画とするため、4回の市民ワークショップ、3回のアンケート調査を行い、これらの意見を集約、反映させた再整備基本計画（案）の内容について、各分野の方々の専門的な意見を聴取するための会議。

#### 第1回有識者会議の内容

- ・開会挨拶、有識者会議メンバー、事務局、コンサルの自己紹介
- ・古戦場再整備基本計画工程説明
- ・ワークショップ、アンケート調査の報告
- ・主要施設配置に関する資料説明
- ・主要施設配置についての意見聴取
- ・文化庁調査官発言要旨に関する説明
- ・基本計画（案）に関する資料説明
- ・基本計画（案）についての意見聴取
- ・その他（第2回の有識者会議の予定）説明
- ・閉会

#### ■第1回有識者会議会場の様子



## 主要施設配置（案）についての意見聴取と計画の方針

### ■ガイダンス施設・資料館東側ゾーンへの集約について

- ・両施設を東側ゾーンへの集約、イニシャル・ランニングコスト削減、ボリュームのある資料館をガイダンス施設地下に配置するということを提案し、各委員の了承を得た。

### ■和弓場について

- ・委員の意見は、和弓場は、史跡環境保全の観点から好ましくなく、将来的に移転を謳うべきとの意見が多く出された。
- ・市としては、スポーツ基本法に基づく本市のスポーツ推進計画の中で、これから議論していくことになるが、弓道活動継続の必要性があることから、具体的な移転計画・場所が確定しない限り、移転することは現実的でなく、現和弓場の改修を行い、存続とする。

### ■駐車場の規模について

- ・一部委員から、駐車場を現状の2倍程度に拡張すべきとの意見が出された。
- ・座長からは、古戦場環境保全の観点から駐車場は小規模の方が好ましく、周辺駐車場の利用も想定し、カフェ利用者用の現状規模程度の確保が妥当との意見が出された。
- ・利用台数想定を行なうと共に、古戦場公園環境保存との関連を考察し、適切な駐車台数を設定する方向で調整することとなった。

### ■多目的棟について

- ・語り部による古戦場の解説、戦いの舞台・背景となった長久手の農村環境の展示、隣接住宅地の緩衝施設としての機能等から、多目的棟を西側ゾーンに配置する提案を行なった。
- ・数人の委員から、古戦場周辺は山中でもなく、古戦場景観とは異質な農村環境整備は好ましくないとの意見が出された。
- ・古戦場だけでは、楽しみが少ない。国指定史跡地の原則を抑えつつ、利用者に様々な楽しみを与え、長久手を知ることのできる農村環境をつくることは意味があるとの意見も出された。

## 基本計画（案）についての意見聴取と計画の方針

### ■桜（ソメイヨシノ）及び植生について

- ・委員の意見としては、現状の雑木林を主たる植生とすることが多数を占め、座長からは、合戦当時の松の補植はどうかとの意見が出された。
- ・今後、保存活用計画の中で、造園系の学識経験者の意見も聴取し、あるべき方向性を出すこととなった。

### ■アクセスについて

- ・委員から、大型商業施設からの歩道橋をどの様に考えているかとの質問が出された。
- ・市としては、リコモテラス公益施設もできるため、あった方がよいが、レベル処理、費用面や駅からの歩行者動線のあり方を検証していく必要があるとの見解を示した。

### ■バリアフリー動線について

- ・委員から、バリアフリー動線を整備すべきとの意見が出された。
- ・国指定史跡地の地形改変は出来ないが、主要施設間を結ぶバリアフリー環境の園路整備を行なうと共に、市道からガイダンス施設を繋ぐエレベーターの整備によりバリアフリー動線を確保する計画の説明を行った。

■園路整備について

- ・史跡地の樹林環境保全、利用者の回遊性の確保、庄九郎塚との連絡等を目的とした園路整備について説明を行い、委員の承認を得た。
- ・土系舗装、園路幅員等の説明を行い、委員の承認を得た。  
東西連絡園路部分については、座長から直線ではなくカーブ処理を施すことで少し自然風の方が良いのではとの意見があった。
- ・委員から、園路から樹林地にあまり人が立ち入らぬよう、園路際に低い柵等を設けた方が良いとの意見があった。

■国指定史跡地の追加について

- ・良好な史跡環境を将来に継承していくため、国指定史跡地内の飛び地となっている市有地等を追加指定地とすることに関しての意見を求めた。
- ・東屋などが設けられなくなるとの意見もあったが、史跡環境の保存継承を重視した計画を行いたいということで承認された。

■資料館について

- ・資料館の規模は、どのような機能を持たせるのかで考察する必要がある。
- ・資料館の利用対象が誰か、また生涯学習の拠点としての位置づけもする必要がある。
- ・長久手の文化財をここで展示することは重要、地域文化の展示スペースは相当規模を確保する必要がある。
- ・映像だけでなく、リアリティーのあるもの（火縄銃など）を展示することが重要。
- ・合戦当時の人（武将や庶民）が感じた感性を伝えるには、必ずしもリアルである必要がなく、伝わることの方が重要。

■その他施設について

- ・委員から、利用者にとってトイレは重要なため、充実させて欲しいとの意見が出た。
- ・座長から、リコモテラス公益施設にもガイダンス施設が欲しいとの意見が出された。

■照明について

- ・座長から、照明について、国指定史跡地の中に照明灯があるのはどうか、安全の問題を考えると柵を設け立ち入り禁止にするかとの問題提起があり、今後、安全性確保・防犯・景観等について十分検討していくこととなった。

■学芸員について

- ・委員から、市職員に学芸員の資格を持っている人材の有無について質問があり、市として、人事の問題もあるが、フィールドミュージアム構想もあるため、人材確保について前向きに検討を始めているとの説明を行った。

■多目的棟の名称について

- ・市から、西側ゾーンの「多目的棟」の名称を考えていきたい。「農村生活体験施設」では農村が強調されすぎているので郷土、民俗などを入れた名称に変えたいとの提案を行い、座長から「歴史体験施設」といったものでとの意見が出された。



## 4-2. 古戦場公園再整備基本計画策定第2回有識者会議の概要

日時 : 平成29年3月1日(水) 午前10時00分から午後0時10分  
場所 : 長久手市エコハウス 多目的室  
出席委員 : 座長 名古屋市立大学名誉教授 瀬口 哲夫  
各分野の代表者 : 長久手市文化財保護審議会 田中 義和  
長久手市文化財保護審議会 井藤 繁之  
長久手古戦場野外活動施設運営委員会 水谷 栄太郎  
長久手古戦場野外活動施設運営委員会 山村 亜希(欠席)  
長久手市郷土史研究会 加藤 武  
長久手市郷土史研究会 伊藤 善彦  
長久手市観光交流協会 布垣 直昭  
長久手市観光交流協会 堀場 修二  
オブザーバー 愛知県教育委員会 生涯学習課文化財保護室 松本 彩  
文化庁 文化財部記念物課 五島 昌也(欠席)  
事務局 長久手市暮らし文化部 高嶋部長、加藤次長  
生涯学習課 横地課長、森係長、奥村主事  
榎地球号 中見、越村

会議の趣旨 : 本会議の趣旨は、平成28年5月の第1回有識者会議以降、事務局で8月に市民の方と一緒に夏休みワイワイ地域別意見交換会を開催し、9月、10月、郷土史研究会との意見交換会、11月に文化庁との協議、第5回市民ワークショップ、平成29年1月から2月にかけてパブリックコメントで市民の意見等により、取りまとめてきた古戦場公園再整備基本計画(案)について、専門的な意見を聴取し、策定のための最終的な会議とする。

### 第2回有識者会議の内容

- ・開会挨拶
- ・会議趣旨の説明
- ・古戦場公園再整備計画資料編、古戦場公園再整備計画(案)概要についての説明
- ・古戦場公園再整備計画(案)についての意見聴取
- ・「古戦場公園再整備基本計画」についてのパブリックコメントの実施結果の概要説明
- ・パブリックコメントの実施結果についての意見聴取
- ・今後の予定等の説明
- ・閉会

### ■第2回有識者会議会場の様子





## 古戦場公園再整備基本計画（案）についての意見聴取と計画の方針

### ■ ガイダンス施設について

- ・ガイダンス施設について、もう少し博物館的要素・性格を持たせた方が今後の活動の自由度が高まってよいとの意見があったが、国指定史跡のガイダンス施設であること、施設規模から小牧・長久手の戦いを中心とする展示解説を主体とした施設とすることにした。

### ■ 展示計画について

- ・ガイダンス施設の展示について、オマントを含め、もっと幅を持たせた方がよいとの意見があったが、国指定史跡のガイダンス施設であることから、「小牧・長久手の戦い」を中心に展示の計画を考えていくこととした。
- ・長久手の様々な文化の展示については、現時点では、西側の歴史民俗体験施設と連携しながら検討していくこととした。
- ・また、若い人が集う計画中のリニモテラス公益施設において、長久手の歴史・文化を展示してはどうかとの意見が出され、観光交流協会の協力を得て歴史を観光資源として取り組むことへの前向きな意見が出された。

### ■ 学芸員について

- ・学芸員が、研究型または集客型で違ってくる。運営管理を行なう人が、どちらもできれば理想だが、なかなか難しい。学芸員を一人採用したから、上手にいくとは限らない、どういう人たちと関係を築きながら仕事をするかも考えなければならない、また年間1回は企画展を開催する運営体制ができると活性化するとの意見が出された。
- ・事務局から学芸員がいないと、他の博物館から資料を貸してもらえない場合もあるため、学芸員の採用は、将来に向けての第一歩という考えを示した。

### ■ 運営について

- ・事務局から古戦場公園について、管理運営は、公民連携、民間活用、市民力の活用、指定管理者制度の導入等を検討する等、あらゆる方向性を考えると計画（案）の内容を示した。また、「パークマネジメント組織」の立ち上げを検討していくとの考えを示した。市民はそれぞれ、様々な得意分野があり、ネットワーク型の「パークマネジメント組織」により補完し合い、古戦場公園の運営ができると付け加えた。
- ・公園の管理、ガイダンス棟の管理、歴史民俗体験施設の管理と個別に書かれているが、一体的に考えているのかとの質問があった。
- ・公園と施設の所管が違くと管理・運営や活動する人たちと不都合が起きるので、運営にあたっては横の繋がりが上手くできるような体制を整えて欲しいとの意見があった。
- ・事務局は、古戦場公園は生涯学習課が公園全体を一括管理していることを説明した。

### ■ 計画（案）の記述について

- ・計画（案）の「史跡を構成する要素」について、眺望や樹木、駐車場の位置づけが分かりにくいとの指摘があり、並行して作成している「史跡長久手古戦場保存活用計画」との整合性を図り、必要な修正をすることとなった。

### ■ 歴史民俗体験施設について

- ・移築される民家について、座長から「それは意見が二つに分かれており、古戦場にふさわしく

ないという意見と長久手市は博物館を持っておらず、貴重な文化財として古民家を確保できる予定なので、ここに歴史民俗体験施設をつくらうという意見がある」と発言があった。

- ・長久手合戦当時に農村があったが、当時の建築は、移築しようとしている江戸末期の 150 年前のものとは異なるため、計画の中で、位置づけや関連性を図るようにとの指摘があった。

## パブリックコメントの実施結果についての意見聴取

### ■AR・VRについて

- ・VR 技術をどういうコンセプトでいくかについては、実物・実地を重視したほうがいい。博物館のトレンドでもある。あまり技術に頼らない運営をという中で、VR の良さを使うべきとの意見があった。
- ・ゴーグルタイプの最大の弱点は、少人数しか見られない、多人数がフィールドへ行きながら楽しむという意味でいくとスマホにダウンロードして、今いる場所が昔どんな風景だったか、かざすと見える、例えば首塚に印があって、そこに行ってみようかなと言う景色があるとリアリティーを感じ、人が動くという、同じ VR ならそう使った方がいい。ゴーグルやタブレット端末に関する貸出し手続き、コスト等の管理上の課題について意見が出された。
- ・古戦場でしか見られないコンテンツは何かと考えると、ただ昔の原野が広がっているだけだと臨場感がなく、また戦っているシーンを再現すると、費用がかかるとの意見があった。
- ・座長から高齢者も含め、使いやすく、安く、実現性のある手法でやってほしいとの考えが出された。
- ・また、事務局からは、40 名くらい収容のミュージアムシアターでの導入等を考えていることも説明した。具体的な手法については需要と供給の関係・費用対効果を含め詰めていくと考えを示した。
- ・AR 等への補助は、原則ソフト事業が対象であり、ガイダンス施設で使えることが前提条件となる。それを前提に、屋外でも使えるようにすればよい。ハードについての補助は条件次第とオブザーバーから助言があった。

### ■まとめ

- ・座長により古戦場公園の基本的な原則をしっかりと作って、その枠の中で、市民参加で使いやすくしていくのが皆さんのご意見だったとされ、今後の策定は、事務局に一任するとまとめた。

### ■部長あいさつ

- ・平成 34 年度に供用開始できるように、整備をしていく予定で、平成 29 年度はパークマネジメント組織を市民と立ち上げていきたいと考えている。「秀吉と家康が戦ったここ長久手で」というテーマに沿って、市民が文化財を楽しむ、そういった保存活用ができるようなまちづくりを進めていきたい。今回で有識者会議は終わりますが、今後とも、委員の協力をお願いしたい。

## 5. 古戦場公園再整備基本計画策定 文化庁協議報告書

### 5-1. 古戦場公園再整備基本計画策定 第1回文化庁協議の概要

平成28年4月8日(金)

#### ■国指定史跡「長久手古戦場」

- ・国指定史跡地で、古戦場は非常に少なく貴重である。
- ・城跡などと異なり、テーマ設定・整備の仕方についてはどこも苦勞している。
- ・国指定史跡地だけでは古戦場の雰囲気や伝説が伝えにくいいため、激戦地の原地形と石碑等の本物は現地で体験し、説明できない部分は、ガイダンス施設で展示解説する計画ストーリーが妥当である。

#### ■歴史民俗体験ゾーン

- ・古戦場がらみの整備という位置づけは出来ない、緩衝施設の扱いで組み立てることが妥当。

#### ■保存活用計画

- ・保存活用計画は、以下の3要素からなる。
  - ①史跡を構成する重要なもの
    - ・史跡を構成する欠かせない要素で、無くなると史跡価値が著しく低下するもの
    - ・計画地では、石碑・雑木林の丘陵
  - ②史跡を構成する要素では無いが、史跡の理解を助け、史跡活用のために必要なもの
    - ・計画地では、ガイダンス施設
  - ③史跡の保存上、障害になるもの
    - ・計画地では、史跡に関係のない施設で、撤去移設を行うもの
- ・保存活用計画は、先ず、測量により範囲を特定する(境界明示は必要)。
- ・国指定史跡地内にあって、史跡の障害になるものは、どういう計画で移転するのかを謳う。
- ・国指定史跡地の追加指定  
国指定史跡地内の市有地も一体的に保存を図るなら、検討し、必要であれば追加指定をする。
- ・国指定史跡地の管理計画を作成  
石碑の保存の仕方や、地形や樹林をどのように位置づけ、管理していくかを記述する。
- ・基本計画先行への対処は、保存活用計画の内容を理解し、十分組み入れることで対応できる。

#### ■学芸員(専門職員)

- ・ガイダンス施設を作り、運営していくには、それなりの人材が必要。
- ・学芸員(専門職員)がいないと補助金が出ないことはない。ただし、学芸員(専門職員)がいないと市の特別展などで、他施設から展示品を借用できない可能性がある。

**■年次計画**

- ・年次計画は、短期の具体的なものと、再整備計画を社会情勢等に対応し、どこで更新するのかという長期的なものがあり、その両方が記述されているのが望ましい。
- ・本計画は基本的考え方が示されているが、将来社会的状況とか来場者の利用状況を見ながら計画を更新していくのかどうかを明確にする必要がある。
- ・年次計画があると、短期的には事業遂行上合理的で、設計と工事等を組み合わせることで設計にも補助が付き、長期的には附、和弓場の扱いについての説明も出来る。

**■保存活用計画と再整備基本計画について**

- ・保存活用計画は、ルールブックであり、必要な要素については、それを再整備計画に盛り込んでおくことが必要となる。
- ・①史跡を構成する枢要なもの、②史跡構成要素では無いが、史跡の理解を助け、史跡活用のために必要なもの、③史跡の保存上、障害になるものをグルーピングし、その要素を拾い上げ、課題と解決策を明記しておくこと以後の設計・工事等においての規範となり問題が起きない。

**■管理運営、法規制等について**

- ・管理運営は、計画の中でこういう方向性(市民参画等)でやっていくと書かれていれば、大きな問題となることは無く、事業として採択していける。
- ・管理運営計画があいまいな場合、公共でできることが、外郭団体への事業委譲などで、法規制上できなくなることも発生する。

**■都市公園化における問題点等について**

- ・今回の史跡整備部分は、国指定史跡だけでなく都市公園の網も被っているため、文化庁と国土交通省の役割分担を記載しておくことが必要となる。
- ・駐車場には文化庁の補助は付かない。
- ・史跡地内のトイレは、花見利用等が多いとこれは都市公園のためとして都市公園の補助となるが、史跡環境保全上必要なものについては、文化財の補助の適用ができる(民家の移築も同様)。

**■施設名称について**

- ・ガイダンス施設名称について、通称は自由であるが、正式名称の中には史跡名を入れることが必要となる。